

市政の ここが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。

なお、掲載文は、議員本人作成(文責)の原稿です。



内藤 とし子 議員

新型コロナウイルス 感染拡大対策と市民生活 について

問 日本共産党高浜市委員会は、新型コロナ対策について、市民生活を守る為にアンケートに取り組み、80%の方が、影響がある、今後影響が出てくると回答

した。そこで子育て世代について、新生児のおむつ代を助成している自治体もあるが、高浜市は。就学援助制度に関して、コロナで所得が減って認定を受けたいという方が新たに出てくる可能性もある。申請を改めて受け付けてはいいかがか。大学生等授業料の納付が困難になった場合、公的支援をする考えは。進学をあきらめた場合、市が雇用する考えは。

答 おむつ代を助成する考えは無い。就学援助制度について、高浜市はいつでも申請の受付をしているので改めて申請を受け付ける考えは無い。大学生等の支援は、国や大学等が取り組んでいる。雇用含め市独自支援の考えはない。

問 水道の基本料金減免を7月から4ヶ月取り組むが、6ヶ月と長くないか。

答 近隣市全て4ヶ月であり。延長予定は無い。

問 開業医の看護師さんからの声で、PCR検査を増やせ。マスク、防護服等準備できない。感染リスクに耐えて頑張っている。第2波、第3波の独自準備をせよ。

答 開業医の皆さんには、備蓄用のマスクを貸与した。

新型コロナの元での教育行政について

問 15の春と言われる中学3年生になると進学問題・入試問題があるが、どのように取り組むのか。

答 高等学校入学試験について、文部科学省から地域における学校の状況を見極めて、特定の入学志願者が不利にならないように配慮するよう県に指導がされている。入学選抜の方法等をしっかりと伝え、生徒の不安を払拭していく。

問 三密の解消、また少人数学級実現を。

答 年度の途中で、学級編制をし直すことで、担任が変わったり、教室・教師の数を増やしたりしなければならない。教師の確保も難しい。